

## 5月19日 南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭

【南木曾支署】

5月19日（火曜日）、令和8年度南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭が南木曾町田立の田立国有林において開催されました。

本植樹祭は、南木曾町と木曾森林管理署南木曾支署が主催し、南木曾町森林組合が共催する形で、地元と国が共同で開催しているものです。令和七年度は諸事情により開催されず、また令和6年度は木曾郡の植樹祭と合同で実施されたことから、今回は令和5年度以来3年ぶりの通常開催となりました。



みどりの少年団による「みどりの宣言」

当日は、木曾地域振興局林務課長及び町議会議長を来賓に迎え、南木曾町長、南木曾町内の官公署、林業関係者、当支署をはじめ、南木曾小学校みどりの少年団を含む計約80名が参加しました。参加者は2人1組となり、ヒノキのコンテナ苗200本を植樹するとともに、ニホンジカ等による食害を防止するため単木保護材の設置も行いました。



丁寧に植樹するみどりの少年団



記念標柱を建立



食害を防ぐ単木保護剤も設置

開会式では、みどりの少年団から、森林や木の文化を学び、安心して暮らせるみどり豊かな環境を守り育てる「みどりの宣言」が力強く発表されました。

参加した児童からは、「鍬で土を掘るのは思ったより大変だった」「木が育つ頃には自分は60歳だと思つくとびっくりする。作業は大変だったが大きく育ってほしい」などの感想が聞かれました。快晴のもと気温も上昇し、汗を流しながらの作業となりましたが、真心を込めて植樹をした参加者の表情は晴れやかで、自ら植樹したヒノキの成長と郷土の森林づくりへの期待がうかがえました。

今後も地域との連携を図りながら、森林づくり活動を進めてまいります。

